

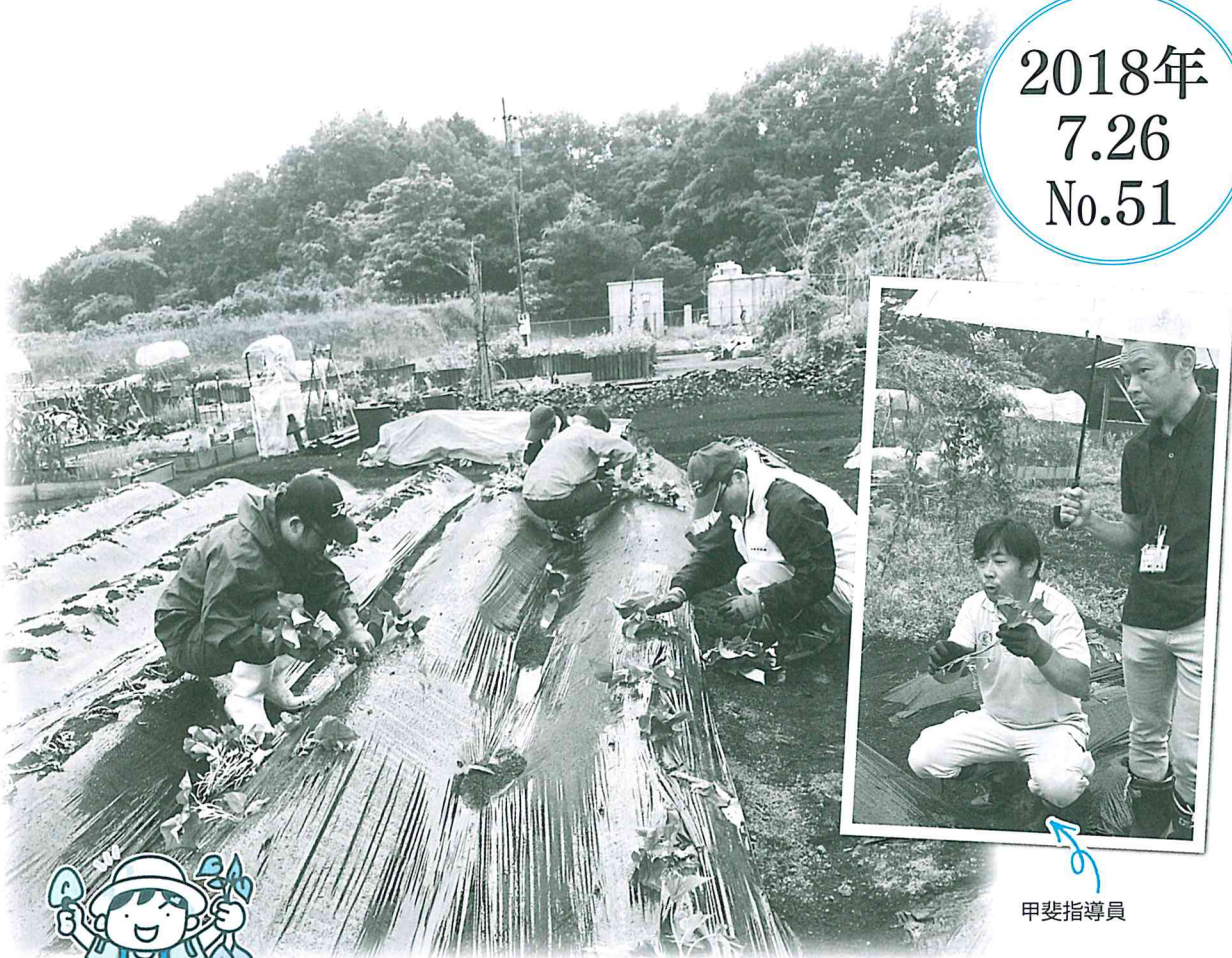


ふれあいネットワーク

ゆび

社協だより

2018年
7.26
No.51



甲斐指導員



「はさま町ふれあい農園」に80本のさつま芋の苗を植えました。秋には、こども食堂にきてくれるこどもたちと芋ほり体験を予定しています。

もくじ

平成29年度事業報告(概要)	2	新規事業取り組み紹介コーナー	9
平成29年度収支決算報告	3	包括だより	10
福祉のひろば	4~5	寄付のお礼	11
地域コーナー.....	6~7	お知らせ	12
地域貢献事業紹介コーナー	8		



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

全体概要

平成29年4月1日施行の改正社会福祉法への対応や介護保険制度の改正への対応を進める中、指定通所事業及び指定介護予防・日常生活支援総合事業(通所)における介護給付費の自主返納が生じたことを重く受け止めるとともに深く反省し、基本に忠実な事務処理の遂行を行うべく、職員

一人ひとりへ業務確認の徹底を進めて参りました。

また、経営の強化と公益性の確保のため、理事会に地域・在宅福祉部会と法人運営・制度政策部会を設置し、平成29年度は、理事会として5回の役員研修会を重ねて法人運営のあり方や事業の進捗状況等の検討を進めてきました。

新たな取組みとして市内の13社会福祉法人で組織する「由布市社会福祉法人施設連絡会」との連携において実施した「こども食堂」や「フードバンク事業」「子どものふるさと愛着事業」等、地域貢献事業の取組みを開始しました。

複雑化多様化するさまざまな福祉課題や各種の制度改正に対応するために、関係行政機関や民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、ボランティア連絡協議会及び市内社会福祉法人の方々との連携と協働、併せて市民のみなさんの理解と協力により地域福祉事業を推進してきました。平成29年度の主な事業実施状況につきましては、次の通りです。

法人運営

理事会 7回 監事監査 1回
評議員会 5回 役員研修会 5回

福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方へ福祉サービスの利用に関する援助や、日常生活費の金銭管理のお手伝いをしました。

利用者 18名 200回

福祉講座

小・中・高生に、高齢者や障がいのある人々に関心をもつ機会を提供し、人を思いやる心を育むことを目的とし福祉入門講座等を開催しました。

生活福祉資金貸付

低所得世帯に対し、資金の貸付を行うことにより、生活の安定を図りました。

相談受付 25件 貸付 7件

福祉機器の貸出

高齢者や障がい者等の方が自宅で安心して過ごせるように、ベットや車イスの貸出をしました。

ベット貸出 29台 車イス貸出 30台

福祉推進員の委嘱

各自治区に福祉推進員を委嘱し、民生児童委員や関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域社会を推進しました。

広報誌の発行

社協だよりを発行しました。年4回

見守り活動

登下校時の子ども達の安全を願い見守り活動を老人クラブ会員・民生児童委員で実施しました。

ボランティア支援・援助

ボランティア団体・個人の活動振興や情報共有、交流を図るとともに、若い世代にも「福祉の心」を育てるよう支援しました。

福祉バスの運行

福祉団体等の研修、各種行事等に活用しました。 102回 1,677名

愛のふれあい電話

70歳以上のひとり暮らしの方へ電話で声かけをして、安否確認等を行いました。 578回

ふれあい郵便

70歳以上のひとり暮らしの方へお便りを届けました。 5,701通

ひとり暮らしのつどい

年1回、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に開催し、交流を図りました。 挟間地域 年1回開催 82名参加

給食サービス

ひとり暮らし高齢者の方へ食生活改善推進協議会の方が調理されたお弁当を民生委員さんがお届けしました。 年2回

親子ふれあいツアー

母子・父子家庭の親子を一日バス遠足に招待しました。 69名参加(関係者含む)

各種団体との連携

民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・ボランティア団体との連携を図りました。

主な活動報告

社会福祉大会

永年社会福祉事業に功績のあった方を称え表彰するとともに社会福祉の進展を図る目的で大会を実施しました。

友愛訪問

民生委員・児童委員・老人クラブ会員による訪問活動をしました。

配食サービス

65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯で自分で調理や買い物が出ない方を対象に食生活の改善と健康増進を図り、合わせて配達時に安否確認を行いました。 11,398食

各種相談事業

総合相談支援・障がい児・者相談事業
心配ごと相談 9(人)
障がい児・者相談 1,140件(対応延べ件数)
包括支援センター相談 575件(対応延べ件数)
生活困窮者自立支援 57人(新規相談者数)
認知症地域支援事業 42件(新規相談件数)

募金運動の推進

共同募金・歳末たすけあい募金等を推進し、地域福祉事業へ配分しました。

生活支援体制整備事業

高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援等サービスの提供体制に向けたコーディネイト機能を果たしました。

社会福祉法人由布市社会福祉協議会の 平成29年度事業収支決算状況を報告いたします

社会福祉法人由布市社会福祉協議会 会長 三ヶ尻 隼人

平成29年度 決 算 報 告

平成29年4月1日現在～平成30年3月31日現在

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	202,486,093	流動負債	20,689,792
現金預金	170,242,148	事業未払金	15,643,093
事業未収金	30,201,968	預り金	3,307,036
立替金	302,314	仮受金	1,739,663
前払金	1,739,663	固定負債	1,838,400
固定資産	91,891,284	退職給与引当金	1,838,400
基本財産	10,048,940	負債の部合計	22,528,192
土地	48,940	純資産の部	
定期預金	10,000,000	基本金	10,000,000
その他の固定資産	81,842,344	基本金	10,000,000
建物	608,903	その他の積立金	66,731,627
車輛運搬具	6,656,953	車輛購入等積立金	11,620,413
器具及び備品	3,479,265	備品施設整備等積立金	55,111,214
ソフトウェア	356,166	次期繰越活動増減差額	195,117,558
福祉資金貸付金	1,927,000	次期繰越活動増減差額	195,117,558
退職給付引当資産	1,838,400	(うち当期活動増減差額)	4,144,112
その他の積立資産	66,731,627	純資産の部合計	271,849,185
その他の固定資産	244,030	負債及び純資産の部合計	294,377,377
資産の部合計	294,377,377		

脚注 1.減価償却費の累計額 40,254,921円
2.徴収不能引当金の額 0円

法人事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	
会費収益	6,041,300
寄附金収益	5,928,125
経常経費補助金収益	55,220,924
受託金収益	103,286,147
貸付事業収益	1,500
事業収益	155,590
負担金収益	6,403,236
介護保険事業収益	120,480,562
障害福祉サービス等事業収益	8,837,910
サービス活動収益計(1)	306,355,294
サービス活動支出	
人件費	228,695,930
事業費	48,227,698
事務費	16,966,923
共同募金配分金事業費	6,673,424
助成金費用	1,480,000
負担金費用	609,600
減価償却費	3,543,643
徴収不能額	
サービス活動費用計(2)	306,197,218
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	158,076
サービス活動外収益	
受取利息配当金収益	36,690
その他のサービス活動外収益	2,373,798
サービス活動外収益計(4)	2,410,488
サービス活動外費用	
サービス活動外費用計(5)	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,410,488
経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,568,564
特別収益	
施設整備等寄附金収益	
固定資産売却益	1,732,999
特別収益計(8)	1,732,999
特別費用	
固定資産売却損・処分損	157,451
特別費用計(9)	157,451
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,575,548
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,144,112
前期繰越活動増減差額(12)	190,140,443
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	194,284,555
その他の積立金取崩額(16)	840,000
その他の積立金積立額(17)	6,997
次期繰越活動増減差額(18) =(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	195,117,558

社会福祉法人由布市社会福祉協議会

役員及び評議員名簿

平成30年7月1日現在

理事7名

役職	氏名
会長	三ヶ尻隼人
副会長	瀧野けさ子
常務理事	工藤 浩二
理事	土師 壽三
理事	大野 茂喜
理事	浦松 辰信
理事	岩尾 豊文

監事2名

監事	佐藤 勝弘
監事	志柿 正蔵

評議員9名

役職	氏名
評議員	志賀 輝和
評議員	首藤 善友
評議員	江藤 清志
評議員	藤柴 厚才
評議員	土師 敬士
評議員	甲斐 靖子
評議員	江藤 修一
評議員	原田 禎二
評議員	栗嶋 忠英

委嘱状の交付



福祉推進員委
民生児童委員会

福祉のひろば

福祉推進員とは？



福祉推進員とは、住民に最も身近な自治会等の小地域において、福祉問題を発見し、解決のために近隣住民のために働きかけたり、民生児童委員などと協力して活動を推進していく、社会福祉協議会会長から委嘱された地域のボランティアです。

福祉推進員のご紹介

挾 間		【任期】平成29年4月1日～平成31年3月31日									
高 崎	佐藤 修二	赤 野	畑 野	奈津子	鶴 田	佐藤 隆宣	阿 鉢	広 渡	嘉 宣		
山 口	後藤 英一	朴 木	大 石	美佐子	鬼 崎	池 辺	正 規	篠 原	仲元寺	順 子	
七 蔵	司 大野 郁夫	朴 木	上 安	部のし	のぶ	向 原	二宮 住子	東 ノ	山 佐	藤 公成	
中 台	神 戸 多賀子	医 大	三 藤	井 元子	中 村	園 田	けい子	谷 東	部 佐	藤 金男	
来 鉢	加藤 静子	サントピア	古野	黒 木	茂 柏	野 加	藤 正寛	生 田	原 立	川 梢	
来 鉢	佐藤 典生	海 老	毛 園	田 紀生	鬼 瀬	佐藤 博美	山 田	江 藤	英 二		
来 鉢	安部 ヒトミ	丸 田	荒 卷	道 雄	池 ノ	上 喜	久田 進	中 恵	波多野	寿 彦	
北 田	代 荒井 きみ子	東 行	杉 崎	龍 藏	茅 場	二宮 博寿	田 ノ	小 野	馬見塚	義 行	
南 田	代 甲斐 敦	宮 田	奴留湯	三 加	時 松	諫 山	ふくみ	酒 野	岡 崎	虹 児	
詰	岡 マサヨ	下 市	川 畑	タヤ子	喜 多	里 塩	手 はつよ	上 筒	口 佐	藤 美智子	
三 船	池 田 永 紀	雇用促進住宅	佐藤 智 顕	サニータウン	狭間	柳 谷	美佐子	下 筒	口 佐	藤 奈良恵	
古 野	村 木 完 治	北 方	長 田	京 子	谷 中	村 佐	藤 知恵子	同 尻	山 崎	優 子	
古 野	郷 志賀 輝 和	上 市	高 橋	久美子	小 野	目 野	秋 子				

庄 内		【任期】平成29年4月1日～平成31年3月31日									
畑 田	曾根崎 久	下 武	宮 佐	藤 貢	栢 ノ	木 大	塚 八千子	長 宝	団 地	左 藤	小枝美
みどり	団地 田村 ひとみ	上 武	宮 後	藤 雅子	中 村	山 口	俊 幸	小 野	屋 小	野 千	竹
猪野	竹ノ下 宮迫 悟	養 草	佐藤 五月	原 中	高 山	光 彦	高 津	透 内	佐 藤	恵 司	
長 野	佐藤 マユミ	中 武	宮 佐	藤 高信	井 手	下 甲	斐 公尊	久 保	伊 藤	ともよ	
葛 原	衛 藤 正 敏	柿 原 1 区	土 屋	美 恵	上 重	工 藤	孝 次	瀬 口	伊 藤	龍 弘	
佐 平	治 津 行 由 道	柿 原 2 区	衛 藤	英 子	直 野	内 山	麻 生 敬	中 尾	首 藤	正	
橋 爪	塩 手 俊 次	野 畑 3 区	瀧 友	江 大	龍 東	部 一 区	日 野	香 代 子	宗 寿	寺 工	藤 サダ子
甲 斐	田 片 田 吉 徳	野 畑 4 区	篠 田	茂 良	大 龍	東 部 二 区	松 本	公 子	竹 の	中 古	庄 弘 子
宇 南	水 足 工 藤 徳 成	瀧 5 区	麻 生	政 司	大 龍	西 部	生 野	利 雄	影 戸	曾 根	崎 教 子
小 松	台 山 内 祐 治	瀧 6 区	森 山	操	五 ケ	瀬 後	藤 佐	由 美	柚 の	木 坂	本 尊 子
深 谷	秦 野 美 重 子	瀧 7 区	森 山	千 恵 子	龍 原	森 律 子	小 挾	間 安	部 奈	津 子	
雲 取	清 田 安 信	日 ケ	暮 工	藤 麻 美	ドリムタウン	五ヶ瀬	伊 藤	大 助	なごみ	の 里	山 下 文 男
小 原	岩 崎 次 代	永 十	菅 正 憲	榛 木	大 久	保 千 鶴 子					
東 家	佐 藤 具 視	伊 小 野	佐 藤 純 一	五 福	吉 瀬	博 公					
平 石	麻 生 俊 之 輔	高 津 原	大 向	菊 泉	蛇 口	安 部	ひろ子				

湯 布 院		【任期】平成30年4月1日～平成32年3月31日									
塚 原	縣 ミツ子	乙 丸 3	加 藤	千 代 美	山 崎	多 田	カツヨ	下 津	々 良	杉 田	敦 子
津 江	佐 藤 美 千 子	新 町 1	近 江	トシ子	平	生 嶋	久 子	鮎 川	宇 都	宮 富	貴 子
岳 本	藤 島 正 威	新 町 2	倉 橋	澄 枝	中 依	杉 丸	和 子	湯 平 1	葦 胤	恭 子	
湯 の	坪 田 中 豊 子	荒 木	立 川	久 美	下 依	後 藤	由 貴 子	湯 平 2	清 水	嘉 彦	
中 島	浦 田 けい子	石 武	山 本	直 美	前 徳	野 佐	藤 ヒ	フミ	湯 平 3	後 藤	昂 英
佐 土	原 白 石 勲	光 永	阿 部	元 信	内 徳	野 日	野 恵 子	畑	秋 吉	春 美	
並 柳	福 田 禎 博	東 石 松 1	小 野	千 賀 子	槐 木	日 野	玲 子	小 平	幸 野	英 俊	
若 杉	衛 藤 貞 信	東 石 松 2	永 松	柳 子	畑 倉	吉 野	祐 司	幸 野	坂 本	朱 実	
乙 丸 1	溝 口 小 恵 子	東 石 松 3	土 師	由 布 子	奥 江	橋 本	健 志 郎	水 地	佐 藤	住 江	
乙 丸 2	轟 秀 子	西 石 松	伊 美	慶 子	上 津	々 良	峰 や	工 子			

福祉のひろば

地域支えあいに向けた取り組み



由布市社会福祉協議会
第1届生活支援コーディネーター
佐藤 久美子



浪平さんが車いす生活になったら？
マスオさんがリストラされたら？
フネさんが認知症になったら？
サザエさんが詐欺にあったら？
この場合に使える福祉制度を紹介しました。

**福祉推進員
委嘱状交付式
及び研修会（湯布院）**
5月15日（火）
湯布院福祉センターにて

研修会では、湯布院地域で活動する民生委員・児童委員の皆様にもご参加を頂き、由布市で取り組んでいる「集いの場づくり」話し合いの場づくりについての講話と、サザエさん一家を題材に、社会福祉協議会で取り組んでいる相談事業の説明を、寸劇仕立てで紹介しました。

サザエさんといえば、じゃんけんポン！



お願い
します

由布市社会福祉協議会では、多様な事業の取り組みを寸劇仕立てで紹介しております。地域の集いの場や研修の場に、ぜひお呼びください。

民生委員・児童委員 活動報告

民生委員・児童委員は、一定の担当地区を受け持ち、地域や関係する機関と手を取りあい、みなさんがその人らしく自立した生活ができるように暮らしを応援する人達です。その活動の一部をご紹介します。

学校訪問

挟間 5月22～25日
庄内 6月25～26日
湯布院 6月29日

地域の幼稚園、小中学校を訪問しました。先生方から学校概要について説明していただいた後、児童や生徒の現状をお聞きし、通学路や地域での課題や問題点を話し合い、学校と民生委員・児童委員とのつながりについて協議しました。



給食サービス

挟間 5月16日（火）
5月17日（水）

希望のあった75歳以上のひとり暮らしの方に弁当を配布する給食サービスを実施しました。このお弁当は、由布市食生活改善推進協議会挟間支部の皆さんに作って頂き、担当地区の民生委員・児童委員さんに配布して頂いております。

毎回、彩りのきれいなお弁当は大変喜ばれ、「美味しかった」と感謝のお言葉も頂いております。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。



広報活動

挟間 5月15日（火）

「活動強化週間」の取り組みとして、民生委員・児童委員の活動を地域のみなさまに知っていただくために広報車でPR活動を行いました。



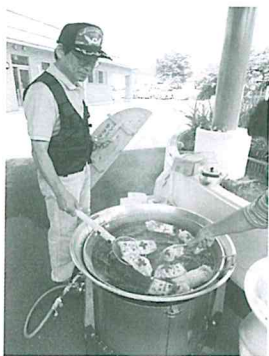


地域コーナー



防災セミナー

6月15日(金)
ほのぼのプラザで開催



ハイゼックスによる
炊出し訓練



胸肩圧迫を30回。
圧迫は【強く、速く、絶え
間なく】リズムを刻んで
行うことが大切だと教
わりました。

ハイゼックス (炊き出し用の袋)
強化ポリエチレン製で熱に強い

日本赤十字社大分県支部の職員を講師
にお招きし、災害時の避難所での生活や
応急手当の実技を交えて学びました。
また、ハイゼックスを使用して、ご飯・蒸
しパン・お粥を作りました。もしもの時
の対応について知る機会となりました。

お茶の間サロン

意見交換会

6月21日(水)
ほのぼのプラザで開催
(庄内地域)



サロン運営の秘訣は「楽しいこと」
自分も楽しみ、参加者も
楽しめるようにとのこと



活動報告をする
山下鈴子さん

今回の意見交換会は、庄内地域でお茶の
間サロンを開催するリーダーの方々を対象
に、お茶の間サロンの活動内容やサロンを
開催して良かったことや困ったことなど、
意見交換会を中心に情報共有しました。
はじめての試みでしたが、レクの内容や
送迎時の工夫、サロン運営での特徴等が話
がつきず、明日から
役立つ情報交換の
場となっていまし
た。

お茶の間 サロンとは？

65歳以上の高齢者5人以上でつくる集いの場です。(40~64歳の方はサポーターとして参加できます) 現在、由布市内での活動団体は46団体あり、庄内地域では20団体が月に1回以上、活動しています。介護予防の体操や、茶話会、趣味の活動などを通して、地域のつながりの場となっています。

心配ごと相談

無料

社会福祉協議会では各種相談を受け付けています。
どんな悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。
秘密は厳守いたします。相談内容によっては専門機
関と連携し解決をはかります。

例えばこんな相談

- 暮らしや住まいに関すること
- 家族に関すること
- 健康や医療に関すること
- 福祉に関すること

日 程	時 間	場 所
毎月第2・4木曜日	9:00~12:00	由布市役所挟間庁舎3階(社会福祉協議会挟間事務所)
毎月第2・4火曜日	9:00~12:00	ほのぼのプラザ(社会福祉協議会庄内事務所)
毎月第2・4木曜日	13:00~16:00	湯布院福祉センター(社会福祉協議会湯布院事務所)

知っていますか？

障害に関わる2つの新制度

大分県版ヘルプカード

● ヘルプカードには？

その方が手伝って欲しいことが書かれています。



カードおもて面



カードうら面

● ヘルプカードをお持ちの方が困っていたら？

ぜひ手助けをお願いします。

利用対象者

誰でも持つことができますが、障がいのある方、難病の方、高齢の方、妊娠している方などを想定しています。

配布場所

市役所3庁舎にて無料で配布しています。

お問合せ先

由布市社会福祉協議会
地域福祉課(担当：荒巻)

TEL097-582-2756

精神障害者のバス運賃割引開始

平成30年4月1日より、大分バスグループ、大分交通グループ、亀の井バス株式会社、日田バス株式会社の運行する一般路線バス、空港バス、一部の高速バスで運賃割引が導入されました。



割引対象者

精神障害者保健福祉手帳(1～3級)所持者本人
精神障害者保健福祉手帳(1級)所持者の介護人

※本人確認のため、精神障害者保健福祉手帳に写真の貼付が必要です。

割引内容:普通運賃5割引、定期券3割引

※詳細については、各バス会社にお問い合わせください。

お問合せ先

大分バスグループ TEL097-532-7000

大分交通グループ TEL097-534-7455

亀の井バス(株) TEL0977-25-1668

日田バス(株) TEL0973-22-7105



その困り事。 「生活相談窓口」へ

あなたの、第一歩…全力でサポートします。

例えば

- 地域や他者とのかかわりがもてない。
- ひきこもりの生活を何とかしたい。
- 将来に不安がある。
- どこに相談して良いか分からない困り事がある。
- 公共料金や家賃が払えず困っている。
- 仕事が見つからない。長続きしない。
- 収入と支出のバランスが取れない。
- 知人や友人、家族の事で心配している。

私たちは、あなたの想いを大切に、真摯に向き合います。一日も早く、「あなたの笑顔」「あなたらしさ」を取り戻せるよう一緒に方法を考え、安心して生活できるまでサポートしていきます。※各機関への同行も可。秘密は厳守されます。

対象者

由布市内にお住まいの方で、日常生活に心配のある方。
どこに相談して良いか分からず、そのままになっている方。
※ただし、生活保護受給中の方は除きます。

お問合せ先

由布市社会福祉協議会 地域福祉課(担当：小野・寺田) TEL097-582-2756

由布市で活動する13の社会福祉法人で構成する、由布市社会福祉法人施設経営者協議会で、新たな事業が展開されます。詳しく知りたい方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
※どちらも本人からの相談が基本となります

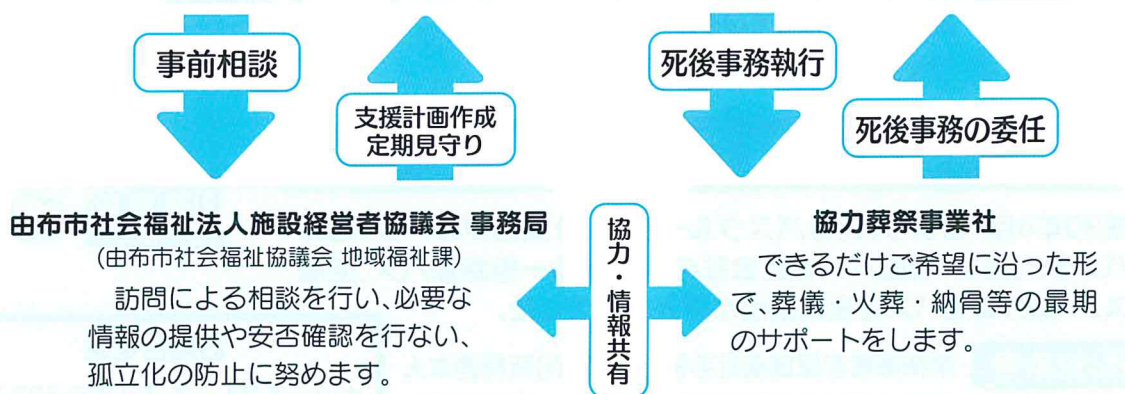
由布市ビューティフルライフサポート事業

対象となる由布市民に対し、葬儀・納骨に関する心配事を早めに解決し、生き生きとした人生を送ってもらうための制度です。



対象者

原則、生活にゆとりがなく、ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦のみで、頼れる身寄りもなくし、葬儀を行う人がいない人。



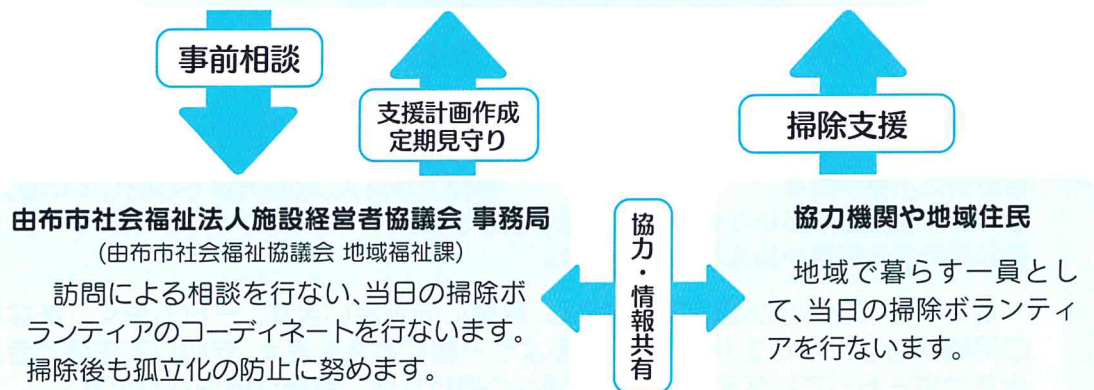
由布市地域支え愛クリーンアップ事業

対象となる由布市民に対し、地域とのつながりを感じ、安全で安心した生活を送るきっかけづくりとなるための制度です。



対象者

原則、生活にゆとりがなく、何らかの病気や障害を抱えた高齢者や障がい者のみで構成される世帯。



お問合せ先

由布市社会福祉法人
施設経営者協議会事務局
(由布市社会福祉協議会内)

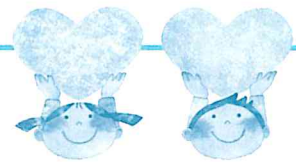
TEL097-582-2756 (担当：太田)

名称変更のお知らせ

由布市社会福祉法人施設連絡会は、平成30年6月から由布市社会福祉法人施設経営者協議会へ変わりました。なお、事務局・連絡先等の変更はございません。



い ま じ ん キッズケアクラブ 想 平 和

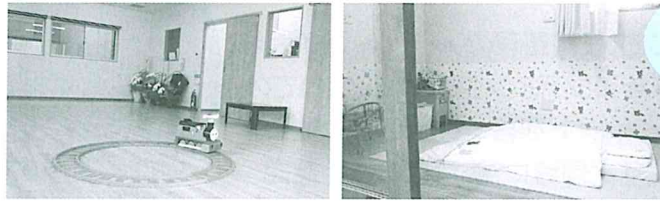
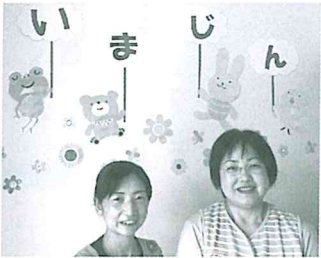


明るく開放的な施設に
保育士と看護師が常駐

「保護者や子どもの不安が安心に変わる施設に」と、おざきホームケアクリニック院長尾崎任昭医師が勤めるクリニック付近に由布市で初めて「病児・病後児保育施設」がオープンしました。

病児・病後児保育とは？

病気にかかっている子どもさんを、保護者にかわって世話をするのではなく、専門家である保育士・看護師・医師等が、身体的・精神的・社会経済的・教育的なニーズを満たせるように保育と看護を行い、子どもの健康と幸福を守るためにあらゆる世話をすることをさします。



病気を抱えている子どもさんをお預かりするとあって、衛生面には十分に気を付けています。



平和を願うジョン・レノンの名曲にちなみ、「子どもたちの未来が幸せな世界になってほしい」との願いを込めたこの施設。少子化が進む中、仕事と育児を両立できる環境づくりに貢献できればと思っています。利用料金は1日2,000円。詳しい利用方法等はお問合せ先までお願いします。

利用対象者

保護者の就労に関わらず、疾病により家庭や集団での保育が困難な由布市内に在住する生後6ヶ月～小学6年生までの児童です。

お問合せ先

直通電話 TEL080-8391-7651
(097-582-0520)

受付時間 8:30～17:30

※ご予約は前日予約が原則です。

無料で貸し出ししています

優しい認知症ケア ユマニチュード

『ユマニチュード』とはフランス発祥の認知症ケアの方法です。特別な技術や高額な治療も必要ないのに、驚くほどの効果が得られると話題になっています。ある新聞は『ユマニチュード』が生み出す結果を、“魔法のよう”と表現しました。「見る」「話す」「触れる」「立つ」など、認知症になっても、“人との関わりを全うしよう”というのがこのケアの目的です。

●貸出対象者

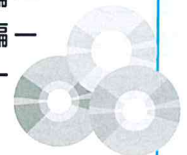
由布市内の医療機関、介護保険事業所、認知症の人を介護する家族等、認知症について知りたい人はどなたでも可能です。ただし、営利を目的とした上映会はできません。

●貸出内容 DVD教材3巻

- 第1巻 ユマニチュードって何だろう - 入門編 -
- 第2巻 ユマニチュードをやってみよう - 実技編 -
- 第3巻 私のユマニチュード - 家族の実践編 -

●貸出方法

電話連絡の上、由布市社会福祉協議会各事務所にお越し下さい。
※NHK厚生文化事業団による福祉ビデオ貸出事業です。



お問合せ先 由布市社会福祉協議会 TEL097-582-2756 (担当：太田)

平成30年度 市民公開講座 in はさま未来館

「あなたの老後、備えあれば憂いなし？」

～あんしん老後行きバスに乗車しませんか?!～

近年“終活”という言葉をよく耳にしませんか？

6月14日、由布市役所健康増進課と当センターが共同で、安心して老後を迎える準備について考える地域づくりを目的に、遺品整理士の方を講師に招き、公開講座を開催しました。

遺品整理の現場を通じて、生前整理のメリットや終活を行うにあたってお勧めするエンディングノートについての内容でした。エンディングノートを書くことで目に見えない“意志・希望”を形に残すと同時に、終活における課題・問題点をあぶりだすことができ、“頭の中の生前整理”となることを教わりました。

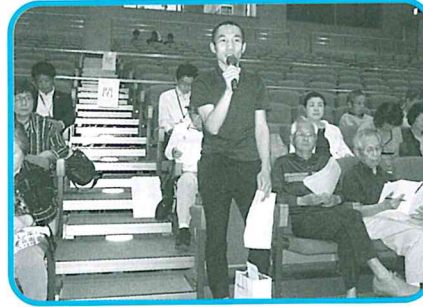
これを受けて、当センターでは安心した老後とは何かを語り合う場“これから安心塾”を企画しました。みなさんのご参加をお待ちしております。一緒に由布市オリジナルのあんしんノートを使って、安心な老後に備えませんか？！



株式会社 NICObit

代表取締役 江田 梢氏
(遺品整理士・終活カウンセラー等)

ほうかつ
ご持たより



啓発活動 ～民生委員・児童委員の定例会にて(挾間・庄内・湯布院)～

民生委員・児童委員の定例会にて、当センターの概要の説明、上記講座の案内を行いました。高齢者の方を支援するにあたり、各々の地域を支えて下さる民生委員・児童委員の方の役割は大変大きなものです。

当センターでは地域の困りごとに対応するために、民生委員・児童委員の方をはじめとする関係者・機関と連携を図っています。お気軽に当センターまでご連絡ください。

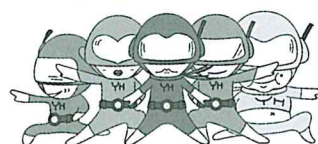


由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4
(由布市ほのぼのの工芸館)

TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえるんジャー



開所時間
月～金曜日
(祝日除く)
8:30～17:15

寄付のお礼

市民の皆様のおかげで、芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。

ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。

平成三十年四月一日～六月三十日まで
の受付分を記載しています。

香典返し (敬称略)

挾間

安部 雅則	朴木	三〇、〇〇〇円
大野 重光	詰	三〇、〇〇〇円
中野 芳次	古野	一〇〇、〇〇〇円
甲斐 関徳	南田代	五〇、〇〇〇円
平島 博美	田ノ小野	五〇、〇〇〇円
馬見塚政登	田ノ小野	三〇、〇〇〇円
手島 敏子	栗ヶ丘三丁目	金一
工藤 康則	同尻	金一
朝久野成年	山田	金一
坂本 嘉弘	田ノ小野	五〇、〇〇〇円
平山奈々子	鬼瀬	金一
大塚トキエ	篠原	二〇、〇〇〇円
首藤 博信	朴木下	金一
田中かすみ	東ノ山	金一
安部 治子	来鉢東部	金一
二宮 俊朗	下市	三〇、〇〇〇円
塩手 絹代	下市	三〇、〇〇〇円
安部 勝人	来鉢東部	三〇、〇〇〇円
小野 勝喜	鬼瀬	金一
塩手 啓二	栗ヶ丘三丁目	金一

庄内

伊藤 龍弘	東大津留	金一
佐藤 軍治	西長宝	金一
佐藤 俊吾	高岡	金一
安部 文武	野畑	五〇、〇〇〇円
磯部 宏道	中	金一
佐藤 昭子	高岡	金一
渡邊ウタ子	五ヶ瀬	金一
河野 孝志	西	金一
佐藤 正秋	西	五〇、〇〇〇円
三重野富雄	福岡市	金一
麻生太次郎	福岡	金一
田原 盛久	高岡	金一
小野 智秀	龍原	金一
佐藤 洋助	柿原	金一
安部 隆司	小挾間	二〇、〇〇〇円
安部 勝也	野畑	金一
三重野 修	東長宝	金一
生野 政治	大龍	金一
吉良 六男	五ヶ瀬	金一
土師 功	長野	三〇、〇〇〇円
菅 正則	龍原	金一
生野 勝則	庄内原	金一

湯布院

佐藤 節生	川南	三〇、〇〇〇円
縣 義博	塚原	五〇、〇〇〇円
太田 玲子	川上	五〇、〇〇〇円
日野 恵子	川西	三〇、〇〇〇円
右田 英三	川上	五〇、〇〇〇円
加藤 貫六	川上	三〇、〇〇〇円
加藤 直満	川上	三〇、〇〇〇円
日野 輝幸	川上	金一
阿部 修司	別府市	二〇、〇〇〇円
河野小夜子	川上	金一

【お詫びと訂正】

前号に掲載しました方の住所に間違いがございましたので、お詫びして訂正いたします。

- 【誤】日野 健三 様(庄内町) ←(一木)
- 【誤】小野 智之 様(庄内町) ←(龍原)
- 【正】日野 健三 様(庄内町) ←(樺木)
- 【正】小野 智之 様(庄内町) ←(大龍)

ご寄付をされた方々へのお知らせ

税額控除制度は、寄附金のうち一、二、〇〇〇円を超える部分の40%を所得税から控除できます。

一般寄付 (敬称略)

庄内

由布ライオンズクラブ	金一
由布市ゲートボール協会	一〇、〇〇〇円
庄内支部	



ゆふ支え愛こども食堂 寄付のお礼 (敬称略)

ゆふ支え愛こども食堂へ次の方々から、お米や野菜等のご寄付をいただきました。食材として活用させていただきました。ありがとうございます。

【挾間】

伊藤 裕二

【庄内】

御手洗祐次	石田きよみ
河野美保子	日野 詢城
工藤 晋也	佐藤 式男
江渡 正治	立川 光子
小野 康子	



御手洗 祐次 氏

参加者
募集

親子ふれあいツアー

日時 平成30年 **8月5日** 日 雨天決行

行き先 **城島高原パーク**

参加対象 母子・父子世帯の親子(高校生まで)

参加費 **無料**

持ち物 雨具・水筒(昼食はみんなと現地でご飯を食べます)

申込先 地区の民生委員・児童委員



お問合せ

由布市社会福祉協議会
地域福祉課

☎097-582-2756 (担当:大塚)



夏のボランティア 体験月間のご案内



実施期間：平成30年7月21日~8月31日

県内の学生・生徒及び社会人に夏休みを中心とした一定期間、ボランティアな活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の福祉課題や地域課題を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進し、ボランティア活動の振興を図ることを目的とします。

各施設で受入れ条件(活動日・時間帯)が異なります。
詳しいパンフレットが社会福祉協議会にありますのでご確認ください。

参加対象者

- 県内の児童、生徒、学生
- 県内に在住または勤務する社会人及び中高年層

NPO法人 森の家
介護老人保健施設 健寿荘
障がい者支援施設 のぞみ園
石城コミュニティスペース庵
ごとう医院通所リハビリテーション
介護老人保健施設ケアポート川崎
特別養護老人ホーム若葉苑
子育てサポートステーションオレンジハウス
コンチェルトはさま

挾間

庄内

障害者支援施設 久保更生園
庄内厚生館デイサービス長宝
西庄内保育所
あなみ保育園
向陽学園
障害者支援施設小松寮

湯布院

あした天気になあれ
NPO法人 リプル
NPO法人 SAKURA会



ゆふ支え愛こども食堂開催のお知らせ

8月~10月のゆふ支え愛こども食堂の日程です。いずれも時間は11:00~13:00です。
8月は夏休み企画を準備し、皆様のお越しをお待ちしております。



参加費

未就学児 無料
小中学生 100円
高校生以上 200円

挾間

由布川地域交流センター
8/21(火)・9/15(土)
10/21(日)

庄内

ほのぼのプラザ
8/23(木)・9/9(日)
10/21(日)

湯布院

湯布院福祉センター
8/21(火)・9/9(日)
10/21(日)

発行 社会福祉法人 **由布市社会福祉協議会**

本所 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1
TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2756

挾間事務所 〒879-5502 由布市挾間町向原128-1
由布市役所挾間庁舎3階
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

湯布院事務所 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ 編集後記 ★★★

今年は例年以上に虫が多く飛び交っていたとのことで、幻想的な風景を堪能できたという方も多いのではないのでしょうか?

さて、今年は記念すべき夏の甲子園100周年!高校時代野球部に属していた私にとっては、1年で1番楽しい時期です。皆様も未来のプロ野球選手の原石を捜すべく、球児へエールを送りましょう。(加)